

平成23年政事業レビューシート

(環境省)

事業名	硝酸性窒素対策等地下水質管理的確化調査		担当部局	水・大気環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度～平成22年度		担当課室	土壌環境課 地下水・地盤環境室		室長 宇仁管伸介		
会計区分	一般会計		施策名	3-3 水環境の保全 (海洋環境の保全を含む)				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	環境基本法第15条、16条 地下水の水質汚濁にかかる環境基準について (平成9年環境庁告示第10号)		関係する計画、通知等	環境基本計画 第二部今四半世紀における環境政策の具体的な展開 第2章環境保全施策の体系 第1節環境問題の各分野に係る施策 3水環境、土壌環境、地盤環境の保全				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素は、地下水環境基準の超過率が高く、一層の対策の推進が必要であるが、汚染原因が多岐(施肥、家畜排せつ物、生活排水等)にわたり、汚染範囲が広範囲であることなどから、地域の汚染状況や窒素の循環を考慮した効率的・効果的な対策を検討することにより、環境基準の達成に資する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	1 硝酸性窒素等による地下水汚染の特徴を踏まえ、汚染原因ごとの実効性のある地下水汚染対策促進策のあり方の検討を行う。硝酸性窒素による地下水汚染対策の、温暖化対策あるいは富栄養化対策としての効果の評価手法の提案を行う。 2 対策計画策定等の支援候補地を検討し、各支援対象地域において現地検討会を実施し、汚染原因や地域の実情に応じた対策促進策等の支援内容を検討する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		修正予算	8	15	15	0	0	
		繰越し等	0	0	0			
		計	8	15	15		0	
	執行額	11	4	4				
	執行率(%)	137.50%	26.70%	26.70%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	調査検討業務であり、数値で定量的に示せない		成果実績					
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	調査検討業務であり、事業の活動内容を数値で定量的に示せない		活動実績 (当初見込み)				()	()
								—
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠					
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>硝酸性窒素等による地下水汚染対策検討では、硝酸性窒素等の環境基準達成方策の検討業務に係る請負先の事業の実施状況について環境省職員が適宜請負先と連絡をとり進捗状況を把握するとともに、必要に応じ、打ち合わせを行って事業の的確な実施に向け必要な技術的指導を行った。また、有識者等で構成される検討会には環境省職員も参加し、検討会での議論が事業の内容に適切に反映されていることを確認した。検討会の内容としては、硝酸性窒素等による地下水汚染の特徴を踏まえ、汚染原因ごとの実効性のある地下水汚染対策促進策のあり方の検討、硝酸性窒素による地下水汚染対策の、温暖化対策あるいは富栄養化対策としての効果の評価手法の提案を行った。また、支援候補地を検討し、各支援対象地域において現地検討会を実施し、汚染原因や地域の実情に応じた対策促進策等の支援内容を検討した。</p> <p>今後は、支援対象地域で得られるデータから地下水流量や窒素形態の変化と硝酸性窒素濃度の関連性を検討する必要がある。また、当該地域における対策促進策の実行状況を踏まえ、包括的な仕組み及び具体的な対策メニューの検討が必要。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止		当初の目的を達成したため、事業終了	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
平成22年度限りで廃止とする。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

環境省
4百万円

- ・事業内容の確定と契約
- ・事業進捗状況の確認
- ・事業成果の確認



【一般競争入札】

A. (株)三菱化学テクノリサーチ
4百万円

<事業概要>

硝酸性窒素等による地下水汚染対策検討

<役割>

・汚染原因ごとの実効性のある地下水汚染対策促進策のあり方の検討

・温暖化対策あるいは富栄養化対策としての効果の評価手法の提案。

・支援候補地を検討し、汚染原因や地域の実情に応じた対策促進策等の支援内容を検討

・学識者等で構成する検討会の設置・運営

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.三菱化学テクノリサーチ			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	硝酸性窒素対策等地下水質管理的 確化調査	4			
計		4	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					